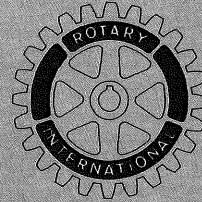


ロータリー

新会員の栞



白石ロータリークラブ

目 次

入会前のロータリー情報

ロータリーの目的	1
ロータリーの特質	2
国際ロータリーの歴史	2
日本のロータリーの歴史	3
白石ロータリークラブの創立	4
ロータリークラブの組織運営	4
例会にゲスト出席	5

ロータリアンとしての入会

会員の種類	6
会員としての資格取得	7
入会式と所属委員会委員の任命	8
1.入会式	8
2.所属委員会委員の任命	8
新会員の心得	9
ロータリアンのエチケット	9
クラブ例会	10
例会プログラム	11
クラブ例会出席と欠席による身分喪失	11

メイクアップの必要とその仕方	12
----------------	----

入会後の奉仕活動

クラブ奉仕委員会の構成と任務	14
クラブ奉仕委員会	14
1.クラブ拡大	14
職業分類委員会	14
会員増強委員会	15
会員選考委員会	15
2.クラブ情報	15
会報雑誌委員会	15
ロータリー情報委員会	16
広報委員会	17
3.クラブ活動	17
プログラム委員会	17
親睦活動委員会	18
炉辺会合	18
出席委員会	18
出席競争とクラブ例会出席の特例	19
社会奉仕委員会	21
職業奉仕委員会	22
国際奉仕委員会	23

国際青少年委員会	24
ロータリー財団委員会	24
世界社会奉仕委員会	25
青少年委員会	26
会場監督(S.A.A)	26
特別委員会	27
健康管理委員会	27
ロータリーの森委員会	27
ニコニコボックス委員会	27

参考ロータリー情報

国際ロータリーの役員と任務	28
1.国際ロータリー会長	28
2.地区ガバナー	28
地区委員会	30
分区代理とその任務	30
クラブ会長とその任務	31
クラブ役員	31
国際大会	32
地区大会	32
地区協議会	33
インターシティミーティング	33

近隣都市連合討論会 (I. G. F)	34
クラブ理事会	34
討論会 (フォーラム)	35
ファイアースイドミーティング	35
加盟認証状 (チャーター)	36
ガバナー公式訪問	36
規定審議会	37
インターアクトクラブ	37
ロータリーアクトクラブ	37
ロータリーの週間と記念行事	38
ポールハリス・フェローと準フェロー	38
米山記念奨学会	39
創立会員 (チャーターメンバー)	40
クラブ旗 (クラブ・バナー)	40
類似団体	41

はじめに

新にロータリークラブに入会した会員のほとんどは例外なく、とまどいを感じるものでこれに対し逸早く同化教育がなされなければならない、ここに新会員に対するロータリー情報教育の必要性がある。亦新会員の教育は、ロータリークラブの将来の動向を決するといふほど重要且つ大きな責任があると云われているが、現実には十分な教育がなされていない。かかる背景から新会員のロータリー入門資料として「新会員の槩」を発刊することになったのである。

その内容については

※あくまでも新会員を対象とし、さしあたり必要なロータリー情報を選び簡潔に説明を加えた。

※新会員が知っておくべき注意や情報などにも言及した。

※普遍性をもった手引というよりは直接白石ロータリークラブ会員を念頭においたものとした。

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特につぎの各項を鼓吹育成することにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを拓めること。
2. 実業および専門職業の道徳的水準を高めること。あらゆる職業は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が職業を通じて、社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること

入会前のロータリー情報

ロータリアンとしてクラブに入会せんとする者は入会前の予備知識として少くとも次の事項について自ら入会決意の参考資料として認識理解を深めなければならない。

ロータリーの目的

社会における人間の幸福は、他人への思いやりと助け合いにあるとする。ロータリーでは国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、クラブ奉仕の4部門を設け各自の職業を通じて“奉仕の理想”を推進することを目的としておりそのためには、

1. 広く知己を求めて奉仕の機会を多く持つ
2. 各自の職業に誇りを持って、その道徳的水準を高める。
3. 公私の別なく奉仕の理想を実行する。
4. 国際的にも理解と友情を広めかつ深める
という四つの道をひらき、そして各自が
 - ① 真実かどうか。
 - ② みんなに公平か。

③ 好意と友情を深めるか。

④ みんなのためになるかどうか。

の四つのテストに照して行動することが大切である。

ロータリーの特質

ロータリーは地域内の理想にもえる堅実な実業家専門職業人の中から定款により一業種1人を選び週一回のクラブ例会出席によって各種職業人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっている。

国際ロータリーの歴史

1905年（明治38年）この頃アメリカは経済恐慌で人心が荒れすさみ特にシカゴの状態を憂えた青年弁護士ポールPハリスが奉仕の精神によって人の和をはかることこそ、よりよい社会をつくりだす道であると考え、3人の友人と語りあってその年の2月23日、この理想を広く人々に呼びかけようと、第1回の会合をひらいたのがロータリークラブの誕生である。ロータリーとは会員が持ち回りで順番

に、集会を各自の事務所でひらいたことから名付けられました。この理想が着実に成長し現在(1978年6月末)154の国および地域にひろめられクラブ数17,815、会員数830,250名に達し、さらに大きな発展をとげようとしている。

日本のロータリーの歴史

日本のロータリーの創始者は東京ロータリークラブ初代会長米山梅吉氏である。彼は、大正8年(1919年)遣料経済使節団に、三井銀行重役として加わり渡米した時、テキサス州ダラス市で、ダラス・ロータリークラブ会員であった三井物産経営の綿花会社社長福島喜三次氏に出あい、ロータリーの説明をうけて、ロータリーへの理解を深め帰国した。翌1920年10月20日、会員24名で東京ロータリークラブが創立されて、会長に米山梅吉、幹事に福島喜三次が就任した。そして、その翌年1921年4月1日世界855番目のクラブとして、国際ロータリーへの加盟認証をうけた。爾後昭和15年(1940)、戦時体制下誤曲解等のため国

際ロータリーを離脱するに至ったが終戦後昭和24年(1949年)3月29日復帰した。以来日本ロータリーは拡大に拡大をつづけ、現在、23地区、14,000クラブ、790,000ロータリアンを数える世界有数のロータリー国と発展し、尚発展をつづけている。

白石ロータリークラブの創立

白石ロータリークラブは1959年(昭和34年)7月27日創立 仮発足、同年11月14日R1より認証され会長朝倉松吉、副会長高橋源一、幹事宮城秀夫等のチャーターメンバー24名で第318番目のクラブとして誕生し現在56名の会員をようし第252地区内においてその奉仕活動は極めて活発で特に出席率、ロータリー財団寄附金などで優秀なクラブに成長した。

ロータリークラブ会員の身分

会員は実業人又は専門職業人の代表者であること。即ち職業分類表(職業分類委員会が毎年8月31日までに整備する)の未充てん(未だ会員がない)の職業等に一人(アデッシ

ョナル会員は外一人)だけ入会が出来ますが報道人と宗教及び外交官の職業分類についてはこの限りにあらず。

ロータリークラブの組織運営

ロータリークラブは奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人たる正会員、シニア・アクティブ会員、パストサービス会員及び名誉会員によって構成された集合体であってこれらの中から選挙された8名の理事による理事会によって管理運営されている。その理事の中から会長、副会長が選任される、幹事、会計、会場監督は会長が任命する。

例会にゲスト出席

ロータリークラブに会員として入会しようとする者は、推せん者と、しばしばクラブ例会にゲストとして出席しロータリアンとの面識、ロータリークラブへの認識を深めることが大切である。

ロータリアンとしての入会

会員の種類

ロータリークラブ会員には正会員、アディショナル正会員、シニア・アクティブ会員、パストサービス会員及び名誉会員の四種類がある。会員の入会時は正会員であるのが普通であるが、その正会員と同じ職場でなくとも同じテリトリー内であれば正会員が更にもう一人の正会員を推せんすることが出来る。これをアディショナル正会員という。

パストサービス会員は5年以上正会員であった人はその人が職業の第一線から退いたため正会員の資格を喪失してもパストサービス会員に選ばれることによって、引続きクラブにとどまることができる。次にシニア・アクティブ会員

○同一クラブ又は他のクラブに通算15年以上正会員であった場合

○60才以上で一つ又はいくつかのロータリークラブで通算10年以上正会員であった者

○65才以上で一つ又はいくつかのクラブで通算5年以上正会員であった者、又はRIの役員であるか、かつて役員であった場合は自動的にシニア・アクティブ会員となる。

名誉会員はその区域限界内に住んでいる者或は曾て住んでいたことのある男子で同地域又は他の地域においてロータリーの理想推進のために有力なる奉仕をした者を名誉会員に選ぶことができる。(曾って白石RCにおいて初代会長故朝倉松吉氏が名誉会員になった歴史がある)

会員としての資格取得

推せん者より会員候補者を会員増強委員会へ推せんし、理事会を経て職業分類委員会、会員選考委員会へと回付検討され更に書面による全会員の賛否を問い最終的に理事会において入会を決定されるのであるが、入会に当っては入会金3万円、年会費13万2千円の半額6万6千円、更に財団への寄附金として約2,420円(11ドル)合計9万8千420円(昭和53年6月現在)を納入して初めて会員として

の入会が認められることになっている。

入会式と所属委員会委員の任命

1. 入会式

入会式は例会プログラムのなかで行われるのが通例であるが、ロータリアンとしてのスタートにふさわしく感銘深く厳粛裡におこなわれる、先づ会長より入会発表と祝辞が述べられロータリーの綱領、四つのテスト、手続要覧、奉仕の冒険、クラブ定款、細則バナー(白石RCの小旗)の交付があり会長より左胸のえりにバッジをつけて貰い次いで推せん者より新会員の略歴等の紹介があり終って新会員より入会の喜びと感謝そしてまた今後会員としての責任を守り白石ロータリークラブの名誉のために努力するなどのあいさつを述べて式が終る。

2. 所属委員会委員の任命

新会員は親睦委員会の委員に任命されるのが通例で同委員会は5～6名の委員で構成されている。

新会員の心得

新会員とはクラブに加入してから2～3年以内の会員をいう。新会員には加入後早い時期に推せん者やロータリー情報委員会からロータリークラブについて諸教育がおこなわれるが、新会員自身本新会員の稟を参考としより早くロータリアンとしての知識を体得するために、例会の外クラブ内の各種会合、クラブ協議会、炉辺会合(ファイア・サイドミーティング)家族会、地区協議会、地区大会、近隣都市連合討論会(I.G.F)などに積極的に参加するようつとめなければならない。

ロータリアンのエチケット

ロータリーで守るべきエチケットはいろいろあるが、そのおもなものは次のとおりである。

1. 例会に欠席する場合および他クラブへメークアップした場合は電話などで事務局へ知らせること。
2. スピーチの最中に私語しない。
3. 各種アンケートの回答、出欠の返事は速

かにすること。

4. 諸支払の期日を守ること。
5. ビジターへの心づかいを忘れない。
6. 他クラブへ出席（メイクアップ）したとき、ビジター・カードへの姓名の記入を楷書で正しく書き読み仮名をつけること。
7. 好ましい服装

クラブ例会

ロータリー・クラブの例会は週一回（白石クラブは金曜日）、通例12時30分から13時30分までの間に開かれる。例会日が休日と重複した場合は休会となるがそのほか天災その他の理由により開催が困難な場合は例会の取消しがおこなわれることがある。例会場や例会日の開催時刻が臨時に変更された場合はまえて各クラブに通知され、幹事より伝達される。

白石RC 例会プログラム

- 12:30 開会 点鐘
月の第一週は国歌斉唱
ロータリーソング
スピーカー紹介
ビジターゲスト 紹介

12:50 食 事
会長あいさつ

幹事報告
委員会報告

13:00 スピーチ
ニコニコボックス
ロータリー財団、米山ファンド 報告
出席率の報告

13:30 閉会 点鐘

クラブ例会出席と欠席による身分の喪失

会員はすべて例会において出席の有無が記録される。（ただし特別の場合を除く）

出席とは、所属クラブの例会にその所定時間 在席していた事実をいう。

例会の出席については、つぎの規定があり、以下のいずれかに違反した場合は会員の身分を失うことになっている。

1. 毎半期間を通じてホームクラブに60%以上の出席率がなければならない。

2. 正当な理由なく連続4回所属クラブの例会を欠席した場合、ただしメイクアップをした場合および理事会が承認した場合を除く。

メイクアップの必要とその仕方

会員は必ず毎週例会に出席することが原則ですが、事情により出席出来ない場合はその出席すべき例会の前か、又は後の6日間に自分の所属クラブ以外の他のクラブ例会に出席（メイクアップ）補填することが出来ます。新会員にあっては初めてのメイクアップの場合は自分の推せん者か先輩ロータリーアンに同行してもらうことが大切です。他のクラブではそのようなビジターを歓迎しております。受付でロータリーアンの証明書（幹事から受領して置くこと）を提示するよう求められることがありますので持参して下さい。そしてまたバッジは忘れずに常時着用して下さい。受付で係のロータリーアンからビジターであることを示す出席者用カードをもらい必要事項を自分で記載し昼食代等（千円～千

五百円クラブによって差違がある）を支払って出席しそのクラブの親睦委員の指示に従って着席して下さい。この場合極力他のクラブの方々とは知り合いを広め有意義な卓話を拝聴する絶好の機会です。メイクアップした場合そのクラブより出席カードの郵送がありますが、メイクアップ事前か又は事後に必ず自分のクラブの出席委員会へ電話連絡することもロータリー活動の一つでありますので忘れずに実施すること。

入会後の奉仕活動

“ロータリーには観覧席がない”入会後ただちにロータリアンとしてまた所属委員会委員として奉仕活動の実践に移行するがそのクラブ委員会の構成と任務は次のとおりである

クラブ委員会の構成と任務

ロータリー綱領に示されている理念を具現するため四大奉仕部門の委員会が構成されているがそれ以外にクラブによっては特別委員会が設置されているところが多い。白石RCの委員会構成と任務は次のとおりである。

クラブ奉仕委員会

1. クラブ拡大

職業分類委員会

ロータリーの会員資格は、職業分類の原則のもとに生じることになっているのでこれを正しく管理運営して行くことはクラブにとって重要な問題のひとつであるが、その役割を担当しているのは職業分類委員会である。

本委員会は3人の委員をもって構成し、毎年1人を3年の任期をもって任命しなければならない。この規定は職業分類という重要なクラブ管理における委員会の仕事の継続性を保証するためである。

白石ロータリークラブにおいては原則として前年度幹事はその委員長に就任することになっている。

会員増強委員会

この委員会は常にクラブにおける職業分類の充填状況を検討し、開放された職業分類を充填するために適当な人物の氏名を理事会に推せんすることをその役割としている。

会員選考委員会

この委員会は会員に推せんされた候補者につき人格職業上および社会的地位などにつき調査をし、その決定を理事会に報告することを役割としている。

2. クラブ情報

会報・雑誌委員会

- (1) クラブ奉仕を担当する委員会のひとつでこの委員会は週報および月報の編集発行、必要に応じ記念報などの編集発行をその役割としている。
- (2) 雑誌委員会はロータリアン誌などに対する読者の関心を喚起する。雑誌週間(4月

の最終週間)を主催する。

ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈する外ニュースと写真を雑誌編集者に送るなどあらゆる方法によって白石ロータリークラブ会員およびロータリアン以外の人に雑誌を役立てることをその役割としている。

ここにいう雑誌とは「ザ・ロータリアン」などの機関誌及び地域専門雑誌「ロータリーの友」などである。

ロータリー情報委員会

ロータリー情報とはロータリーに関する一切の知識をいう。ロータリーの精神、ロータリーの歴史的沿革、ロータリーの組織、ロータリーの定款と細則など基本的知識ならびにそれらに関する知識がそれである。

この委員会は会員候補者、会員とりわけ新入会員にロータリーに関する各種の情報知識を伝えることをその役割としている。

3名の委員会から構成され、毎年1名の委

員が3年の任期をもって任命される。

ロータリー情報委員は、推せん者とならんで新入会員にとってロータリー情報のよき窓口である。

広報委員会

クラブ奉仕のうち、特にロータリーに関する広報を担当する委員会で、この委員会は広く一般世間にロータリーの歴史綱領および規模に関する情報を提供すること、白石ロータリークラブのために適切な宣伝を行なう方策を考案実施することなどをその役割としている。

3. クラブ活動

プログラム委員会

ロータリー・クラブを単なる昼食会に終わらせないため、時機に応じた適切なプログラムを用意することが必要とされているが、この委員会はクラブの例会や臨時の会合におけるプログラムの準備をその役割としている。

例会の卓話の手配や準備もこの委員会の任務の一つである。

親睦活動委員会

例会における日常活動および炉辺会合（ファイアサイド・ミーティング）家族会などの企画実施を通じて会員相互の親睦を促進すると共に、他クラブの会員との友好を主な目的とする委員会で、白石ロータリークラブの新入会員は原則として本委員に指名される。これはクラブサービスの実践をつうじて、できるだけ早く個々の会員と知りあいになり親しくなることへの近道と考えられているからである。

炉辺会合（ファイアサイド・ミーティング）

炉辺のつどいの意味。ロータリーでは夜間などに会員の家その他を利用して親睦を主体としながらクラブの運営や奉仕などについて語りあうことをいう。

尚本会合はロータリアンの自発的・非公式の会合であるから勿論メイクアップの対象とはならない。

出席委員会

クラブ奉仕の諸活動のうちあらゆるロータ

リーの会合への会員出席を奨励する委員会でその役割はつぎのとおりである。

1. 例会への出席と、それが不可能の場合は他のクラブ例会への出席（メイクアップ）を奨励する。
2. 近隣都市連合討論会、地区大会、国際大会などあらゆるロータリーの会合への出席を奨励する。
3. 全会員に出席規定を周知させ、出席不良の原因となる諸事情をたしかめてこれを除去することにつとめる。

(1) 出席競争

各クラブは 100%出席を目指し出席を競いあっております。

毎月のガバナー月信には前月の地区内各クラブの出席状況が表示されている、これによってデストリクト（地区のアテンダンス・コンテストを行い毎年地区大会で前年度の出席優秀クラブがガバナーより表彰されることになっている 通常10位までのクラブ）

白石クラブの最近15年間の成績は次の通り

で 252地区内優秀クラブである。

1963年～1964年	第3位
1964年～1965年	第4位
1965年～1966年	第8位
1966年～1967年	第7位
1967年～1968年	第8位
1968年～1969年	第5位
1969年～1970年	第5位
1970年～1971年	第5位
1971年～1972年	第6位
1972年～1973年	第5位
1973年～1974年	第6位
1974年～1975年	第10位
1975年～1976年	第8位
1976年～1977年	第10位
1977年～1978年	第12位

(2) クラブ例会出席の特例

クラブ例会に出席出来ない会員は、その例会の前後6日以内他のロータリークラブの例会に出席（メーキャップ、出席補てん）することが原則です。このメーキャップはロータ

リアンの特権の一つであり、又奉仕活動の一つでもあります。前述以外にメーキャップとして取扱われるロータリークラブの会合がありますが、それは毎年行われる国際大会、地区年次大会、地区協議会、情報研究会、インターシティゼネラルフォーラム（I. G. F. 県南部分区内10クラブによる研究会）それに新たに発足するロータリークラブの認証状伝達式（チャーターナイト）へ出席すればメーキャップに充当することが出来る。

前述以外にメーキャップとして取扱われるロータリークラブ会合はガバナーが召集或は認定した会合、例えば地区委員会などはメーキャップと認められる。

会員が病気その他止むを得ない事情により本人より例会欠席の申出があった場合理事会の承認により出席が免除される。

尚、二十年または65才以上であったシニアアクティブ会員の場合は本人の届出により出席規定から除外される。

社会奉仕

コミュニティ・サービスという言葉に示されているように、ここでいう社会とは地域社会（コミュニティ）であり、より具体的にはクラブのメンバーのそれぞれが職業生活の上で、あるいは個人生活の上で日々かわりをもつ生活圏を指す。したがって社会奉仕とは具体的に地域社会奉仕である。

ロータリーの社会奉仕とは個々の会員が日常の個人的、職業的活動をつうじて地域社会に奉仕することを根幹としており、そこで見出されるさまざまな情報や問題がクラブへ伝えられクラブの問題としてとりあげられることになる。ロータリーではクラブとしての集団的な社会奉仕活動よりも、個人レベルの日常的な社会奉仕活動が高く評価されている。

職業奉仕委員会

職業奉仕とは職業の世界において奉仕の理想を推進し内は従業員との関係を円満にし外は同業者間の協力につとめ、顧客および仕入先との間に高い道徳的規準を適用することである。

職業奉仕委員会の任務はロータリーの心がロータリアンの職業行動の中に常に生々と存在するよう、またそのようなロータリアンを育成し、その影響力を地域社会の中で他の人々と分かちあうことが出来るよう推進するところにある。

その手段としてロータリーの綱領に示されている。

1. 職業における道徳的水準を高めること。
(公害環境汚染など)
2. あらゆる職業は尊重されねばならないこと。すなわち職業に貴賤がないこと（職業奉仕と人間関係）
3. 職業を通じて社会に奉仕するため、その職業の品位を常に維持すること。（職業における信用と責任）に要約される。そして、その尺度として「四つのテスト」にてらし評価、推進をはかる。

国際奉仕委員会

ロータリーの四大奉仕部門のひとつで国際奉仕のねらいは綱領の第4に示されているよ

うに奉仕の理想に結ばれた職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を促進することにある。その目的を達成するために毎年2月23日を含む週間を世界理解週間と制定して、その意義を強調している。

1. 国際青少年委員会

ロータリーは奉仕活動のひとつとして青少年の国際的交換に力をいれている。その目的はロータリーの世界を通じて、国際的な理解と親善を促進するに役立つ立派な活動として推奨され、これらの青少年の国際交換は15才乃至19才の青少年が望ましいという原則が承認されている。

2. ロータリー財団委員会

人類に対する教育奉仕を目的として1931（昭和6年）に設立された財団で、ロータリーの創始者ポールPハリスの逝去に際し彼を記念する事業の資金として全世界のロータリアンから巨額の寄附金が寄せられたのを機会に、奨学制度が始められた。この活動が年を

追って活発となり現在では各種（大学課程奨学金、大学院課程奨学金、専門的訓練奨学金およびジャーナリズム奨学金）奨学金制度の外に研究グループ交換（G. S. E.）、特別補助金の制度もできている。

白石ロータリークラブの本委員会活動は極めて活発で既に（1977年～1978年）寄附金2,800%に達し地区内上位である。過去においても3人の大学課程の財団奨学学生を派遣している。尚またクラブ会員のなかにポール・ハリス・フェロー4名準フェロー28名を数え、今後増加の傾向にある。

更に財団への理解と協力を強調するために毎年11月15日をふくむ1週間をロータリー財団週間と定め各クラブではそれに、ふさわしい行事が企画、実施されることになっている。

3. 世界社会奉仕委員会

世界社会奉仕とは一つの国のロータリークラブがもう一つの国のロータリークラブのプロジェクトに応じて、物心両面からその国の生活水準の向上と国際理解の増進に寄与する

計画を遂行するプログラムである。

青少年委員会

青少年委員会の任務の指導原理はロータリアン個人を参加せしめて、青少年のためにでなく青少年と共に働くというロータリーのすぐれた方針となって具体化されている。こうした仕事は基本的には指導的任務で、しかも青少年に深い関係をもつ現代の社会情勢を深く認識し彼等らの価値や潜在能力に対する社会の伸びとの評価を高めるように工夫された企画を立案しかつプログラムを作ることが必要である。青少年活動週間（9月15日を含む週間）はその一例である。

会場監督（SAA）

クラブのみならず国際大会、国際協議会、地区大会、地区協議会等にもSAAが任命される。クラブの場合SAAはクラブ役員の一入であり、例会の準備、進行、秩序維持に配慮をおこない、例会の円満な運営と例会を愉快なものにすることをその任務としている。SAAは例会外においても、会員についての

情報を入手するようにつとめるべきである。
特別委員会

健康委員会

あらゆる奉仕活動は会員の健康と体力保持からを目的に会員の医師を中心に構成されている、地区内で特色の委員会では血圧測定、尿検査、心電図撮影の事業をおこなっている。

ロータリーの森委員会

白石ロータリークラブが創立10周年記念事業寄附金をもつ維持管理しているロータリーの森で昭和43年柴田郡川崎町に杉林10,600ヘーベを買受けたクラブ唯一の財産である。毎年1回レクリエーションをかね現地視察をおこなっているが、その成長が楽しみである。

ニコニコボックス委員会

他の委員会と共にクラブに常設されている委員会でロータリアンとその家族の祝いの外に無断例会欠席、遅刻、早退等のペナルテなどの任意繰出金を積立する委員会で会員の善意によって集った資金は社会奉仕

活動のために使用される。

参考ロータリー情報

国際ロータリーの役員と任務

国際ロータリーの役員は会長、副会長、各1名、その他の理事、事務総長、財務長、地区ガバナー、グレートブリテン及びアイルランド(R1、B1)内国際ロータリー会長、直前会長及び名誉会計である。

1. 国際ロータリー会長

会長はこの組織の最高執行者であり、国際ロータリーの仕事及活動を監督する。会長は理事会の一員であると共に、議長である。また国際ロータリー大会及地域大会の議長となる。

2. 地区ガバナー

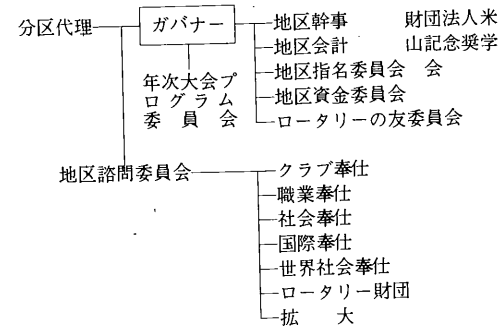
ガバナーは地区大会においてその地区のクラブによって指名される。例外的な事情ある場合には郵便による投票によることもある。

地区ガバナーは7月1日に就任し1ケ年の任期で自己の地域内クラブを直接管理する。また国際ロータリーの綱領を推進し、クラブ結成を監督し地区内クラブ間及びこれらのクラブと国際ロータリーとの間の友好関係を推進することを任務とする。ガバナーは地区協議会及び地区大会を主宰する。

地区委員会

ガバナーは地区委員会をふくむ地区組織を設けガバナーの活動を助けることが慣例となってきた。つぎに示す地区組織もその一例である。

第252地区組織図



分区代理とその任務

地区内において予め決定した分区にあるクラブの管理奉仕を援助するための非公式なガバナーの代理であるとともに、分区内のクラブ会長とガバナー間の連絡員で公式の権限をもたない。

その一般的任務は

- (1) 分区内のクラブを年2回か3回非公式に訪問しクラブの進展状況をガバナーに報告する。
 - (2) 分区内の近隣都市連合討論会 (I . G F) を計画準備する。
 - (3) 非常事態発生した場合は分区内クラブの特別訪問を行なう
 - (4) 講演者の斡旋その他有用な援助をクラブ役員に与える。
- などである。

クラブ会長とその任務

クラブ会長は瑕疵なき会員、シニア、アクティブ会員又はパストサービス会員であってその職業分類について疑問のない者。クラブ全

体を指導する能力を有しかつ同僚たる会員の尊敬と信頼を有する者で、地区協議会に出席しクラブを指導しクラブ事務を執るに必要な時間と労力を献げ得る者でなければならない。その任務はクラブの諸会合および理事会の議長となりクラブと委員会が常にその機能発揮につとめ各委員長、委員の任命後出来るだけ早い機会に第一回のクラブ協議会を開催し以後定期的にこれを開催しまたクラブ内及び地区内のロータリーの諸問題に関しガバナーと協力し速かに処理し、例年の会計検査は勿論クラブの予算編成及び会計事務を監督する。

クラブ役員

会長、副会長、クラブ奉仕担当理事、職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、青少年委員長、副幹事、夫々担当) 幹事、会場監督 (S A A) 会計担当委員が白石 R C の役員である。この役員は通常一年毎に交替して担当することになっているが、会長については二年以前から選挙することが必要とされており一年前から

会長ノミニー（予定者）は理事の一人として奉仕活動し、各種委員会の委員は通例一年毎に任命される。但しロータリー情報委員、職業分類、青少年委員は三年委員、二年委員、一年委員の三名の委員で構成され、任期は三年を終った時点で一名更新される。

尚職業分類委員会委員長は前年度の幹事経験者が担当することになっている。

国際大会（コンベンション）

ロータリーの国際大会は、毎年5月又は6月にR1理事会の決定する日時及場所において開催される。但し緊急の場合には理事会が変更することがある。国際ロータリー加盟クラブの代議員であるロータリアンは、大会に参集して国際ロータリーの役員を選挙し、かつ大会に正式に提出される立法案を審議する。

地区大会（ディストリクト・コンファレンス）

ロータリアンの大会で各地区において、毎年、地区協議会、国際協議会又は国際大会と同時期としない条件の下に地区ガバナー及び

地区内過半数のクラブ会長の同意によって決定した時期と場所において開催される。

地区大会の目的は交歓と感銘深い講演と地区内クラブ及び国際ロータリー一般に関する問題の討議によってロータリーのプログラムを推進することである。大会は理事会から提出された特殊な問題あるいは地区内で生じた問題について審議する。

地区協議会（ディストリクト・アッセンブリー）

次年度の地区運営にそなえて、地区内各クラブの次年度会長、幹事及クラブ指導者を中心に開催される協議会でガバナーが主催し次期ガバナーが協力する。

協議会への出席義務者は次年度会長、幹事4大奉仕部門の担当理事の外特に指定された者であること。

その目的はロータリーの教育及び知識を提供しかつ地区活動の調整を行なうことにある。

インターシティミーティング

R1において開催の国際協議会へ出席するガバナーノミニーの壮行会をかねておこなわ

れる地区部門別の勉強会である。テーマや部門別はその都度ガバナーから示される。

近隣都市連合討論会（インターシティ・ゼネラル・フォーラム I.G.F＝略称） 近隣

都市の数クラブ（白石RCは宮城県南部である）のロータリアンができるだけ多く集まって、国際ロータリーの役員または旧役員（ガバナーまたはバストガバナーの場合が多い）の指導のもとに開かれる。出席ロータリアンに対するロータリー情報および教育の手段として重要視されている。新会員は卒先して出席することが望ましい。

クラブ協議会（クラブ・アッセンブリー）

クラブの運営および活動について協議するためにクラブの理事、役員および各委員長が集まる会合で少なくとも年に6回開催することが望ましいとされている。すなわち年度始め、ガバナー公式訪問の少なくとも2週間前、ガバナー公式訪問のとき、地区大会のあとおよび年度後半の始め地区協議会後がそれである。

クラブ理事会

クラブ理事会はクラブ運営の主体であり、クラブ細則で定められた数の理事で構成されている。白石ロータリークラブの理事会の定数は8名で通常の場合、会長、副会長（クラブ奉仕担当）、副幹事、社会奉仕委員長、職業奉仕委員長、国際奉仕委員長、青少年委員長がそれぞれ理事に就任することになっている。尚幹事、会計、ならびに会長ノミニーはその職に選ばれた時を以て職務上の理事となる。

討論会（フォーラム）

フォーラムとは古代ローマ市にあった中央広場のことで、そこで公的な討論がおこなわれたことから今日では公開討論会の意味に用いられる。ロータリーのフォーラムにはつぎのふたつがある。

1. クラブフォーラム
2. 近隣都市連合討論会（インターシティ・ゼネラル・フォーラム I.G.F略称）

ファイヤーサイド・ミーティング

炉辺のつどいの意味でロータリーでは夜間などに会員の家庭その他を利用して親睦を主

体としながらクラブの運営や奉仕などについて語りあうという。ファイヤサイド・ミーティングはロータリーの自発的・非公式の会合であるからもちろんメークアップの対象とはならない。

加盟認証状 (チャーター)

新に創立されたクラブが R 1 理事会によって国際ロータリーに加盟することを正式に承認されたときに交付される証書のこと、これには R 1 会長および事務総長の署名と地区ガバナーの副署がある。白石ロータリークラブはわが国で 318 番目に認証された。

加盟認証状伝達式は通常ガバナー臨席のもとに行なわれる。認証状伝達式をふくむ祝典のことをチャター・ナイトと呼び、おおぜいのロータリアンを招いて盛大に行なわれる。

ガバナー公式訪問

地区ガバナーはその任期中に地区内全クラブを少なくとも 1 回づつ訪問しなければならない。

公式訪問 ①会長および幹事との懇談 ②ク

ラブ協議会 ③クラブ例会の 3 部からなる。

公式訪問の目的はガバナーとクラブ会員、特に会長幹事との個人的接触を深めて相互の連繫を密にすること。クラブ委員長とクラブ運営について充分協議を行ない、クラブ活動推進のためできる限りの助言を与えることなのである。

規定審議会

規定審議会は国際ロータリーの立法機関であって 3 年に 1 回、国際ロータリーの理事会の定める場所及び時期に開催する。この審議会で可決された制定案は直に国際ロータリーの規定となる。但し、その決定に不服のクラブが全クラブ投票権数の 10% に達する時は審議会の決定は保留して、改めて次の国際大会に付議して最終決定する。

インターアクトクラブ

ロータリー・クラブがスポンサーの高校生のクラブで 1962 年に発足した。その目的は奉仕と国際間の理解に貢献するため、世界的友好を以て共に活動する機会を青年男女に与え

ることにある。

ローターアクトクラブ

ローターアクトクラブはロータリークラブの区域内、又はその隣接区域内に居住、就職又は、就学している18才から28才までの青年によって構成される。その目的は地域社会に対する奉仕を通じて指導力と善良なる市民精神を育成しかつ国際理解と平和運動を推進し指導者としての資質及び職業上の責任として高い道徳的水準を認識受諾することを促進するにある。

ロータリーの週間と記念行事

世界理解週間 毎年2月23日(含1週間)
青少年活動週間 ♪ 9月15日(♪)
ロータリー財団週間 ♪ 11月15日(♪)
ロータリーの雑誌週間 4月の最終週間
ロータリー創立記念日 毎年2月23日
ロータリー職業奉仕週間毎年10月15日(含む1週間)
白石ロータリークラブ創立記念、仮発足7月27日、認証11月14日

ポールハリス・フェローと準フェロー

R1ロータリー財団に対し1000ドル以上を寄附した人、又はその人のためにその寄附が行なわれた場合、また何年かの間に1000ドル寄附することを承諾した個人が最初最低100ドルを寄附した時「ポールハリス準フェロー」と認められ1000ドルの満額に達した時「ロータリー財団のポールハリス・フェロー」と認定される。

研究グループ交換(GSE)

ロータリー財団の教育的プログラムのひとつで5名の青年実業人又は専門職業人(25才~35才)に1人のロータリアン(多くの場合団長としてパスト・ガバナーが選ばれる)をリーダーに加えて6人のチームで国を異にするふたつの地区の間で相互交換して社会的な勉強をさせると共に国際交流と親睦の実をあげようとする制度である。

相手国に滞在する期間は最高2ヶ月から最低1ヶ月の範囲内で両地区が交互派遣する。

米山記念奨学会

日本にロータリーをもたらした米山梅吉氏の功績を称えて1953年（昭和28年）に創立された日本ロータリークラブ独特の奨学制度で主としてアジア諸国から日本に来ている留学生（大学博士課程、修士課程の在学学生）に支給することを目的としている。支給期間2ケ年以内とし基金は日本ロータリークラブ会員の寄附金である。

創立会員（チャーターメンバー）

新にロータリークラブを結成する際、創立時の会員をチャーターメンバーという。国際ロータリー（R I）加盟前に選ばれたクラブ会員を創立会員という。

昭和34年白石ロータリークラブが創立されたときのチャーターメンバーは24名で昭和53年6月末現在54名である。

クラブ旗（クラブ・バナー）

ロータリー・クラブでは公式のロータリー旗のほかにそのクラブ独特の意匠をこらした小旗を作り、クラブ間で交換し友好関係を

記念する習慣が行なわれている。この小旗を普通バナーと呼ばれている。白石ロータリークラブのバナーは白地に黒で白石市の紋章を（釣り鐘）あしらったものである。

類似団体

国際ロータリーに類似した目的および組織を持つ奉仕クラブで、たとえばライオンズ・クラブとか、キワニス・クラブなどをいう。

R I、理事会はロータリークラブ類似団体と共同して活動を行なうことは責任の所在を不明確にするおそれがあるので望ましくないという立場をとっている。

あ と が き

不肖

白石RC情報委員長として新会員の教育資料「新会員の栞」づくりに着手いたしました。もとより浅学非才の身であり、しかも難解な手続要覧よりその要点を把握することが誠に至難で編集に腐心いたしました。幸い先輩ロータリアン、パストガバナー諸先生の御指導により漸く発行をみるにいたりましたが、内容的にもまだまだ取捨選択する点がありますので、今後更に検討を加え完全なものにしたい考えです。将来とも御指摘、御指導をいただければ誠に幸いです。

1978年7月1日

編集者 佐藤正志

新会員の栞
正 誤 表

正 誤

P 3—10行目	遺米	遺料
P 3—19行目	世界で855番目	世界855
P 3—21行目	戦時体制下の ため一時	誤曲解等
P 5—1行目	出来るが	出来ますが
P 6—16行目	アクチブ会員は	アクチブ会員
P 12—10行目	出来る	出来ます
P 12—14行目	歓迎している	歓迎しており ます
P 19—14行目	競いあっている	競いあって おります
P 20—2行目	第1位	第4位
P 27—3行目	健康管理委員会	健康委員会

3e—3行目 誤りあり